

防災・災害対策等に関する調査特別委員会（第3回）

令和3年5月18日（水曜日）午前9時59分開会

○案件

1. 今後の調査事項、要求資料について
 2. その他
-

○出席委員（9名）

委員長	川村主税	副委員長	田村敏郎
委員	神崎和枝	委員	平松俊一
委員	上野武彦	委員	坂本繁
委員	澤出明宏	委員	中川友規
委員	青山金助		

○欠席委員（0名）

○委員外議員（0名）

○出席説明員（0名）

午前9時59分 開会

○川村委員長 それでは、時間になりましたので始めたいと思います。

防災・災害対策等に関する調査特別委員会、第3回目を始めたいと思います。

まず、上野委員より遅参の届出が出ておりますので、報告いたします。

協議事項として、1番、今後の調査事項、要求資料についてということで、前回、2回目の委員会の中で各委員のほうから七飯町地域防災計画、防災無線の運用、防災マップの確認、避難所、砂防事業等河川改修、駒ヶ岳に関する調査について等のご意見ございまして、総務財政常任委員会の所管事務範囲との整合性を図るため、委員長、副委員長、事務局で調整を任せていただくということで終了しておりました。

その結果のほうをまず最初にお話しさせていただきたいと思います。

まず、七飯町地域防災計画、防災行政無線、防災マップ等に関する部分は、総務財政常任委員会の所管となる。特別委員会として、調査したことを北海道や国に要望することを最終目的とする活動が望ましい。

以上の点から、今後の調査方針は、状況を見ながら随時対応していきたいと思うのですが、当然災害等が発生したときには現地調査、被害状況の把握などは、早急に国、また、北海道に要望できるような活動をしなければならないと思いますけれども。

では、今後どのような部分の活動するのだということについて、改めて暫時休憩をとりまして、その中でまた皆さんのほうから、ちょっとご意見等をお伺いしたいと思います。

暫時休憩いたします。

午前10時01分 休憩

午前10時42分 再開

○川村委員長 それでは、休憩以前に引き続き再開いたします。

休憩中に委員の皆様から色々ご意見聞きまして、まず進め方につきましては、まず駒ヶ岳噴火に備えた管理体制ということをまず1点。

2点目として、砂防事業を中心とした河川事業についてということで、おおまかに2点。

そのうち、1点目の駒ヶ岳に関する部分を先に始めるということで。一応内容について、資料要求ですね、北海道駒ヶ岳火山防災協議会の活動についてが1点。駒ヶ岳火山噴火に対応した避難計画についてが2点。地震センサーに関する資料についてが3点。4点目としては、災害時の避難ルートの確保ということで、4点について資料要求をして、説明を聞いた上で現地のほうも確認するというので皆さんよろしいですかね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○川村委員長 次回につきましては、委員長、副委員長、また事務局と日程のほうを調整しまして、後日また皆様のほうにお知らせいたします。

あと皆さんのほうから特に何かありますか。

なければ委員会閉めたいと思いますが。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○川村委員長 よろしいですかね。事務局もいいですか。

それでは、第3回防災・災害対策等に関する調査特別委員会を終わりたいと思います。

お疲れ様でした。

午前10時44分 散会

